



2021年10月8日

各 位

会 社 名 株式会社メディア工房  
代表者名 代表取締役社長 長沢 一男  
(コード：3815 マザーズ)  
問合せ先 取締役 長沢 和宙  
(TEL. : 03-5549-1804)

### 特別損失(減損損失等)の計上に関するお知らせ

当社は、2021年8月期(自2020年9月1日至2021年8月31日)において、下記の通り特別損失(減損損失等)を計上することとしましたため、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失(減損損失等)の計上

当事業年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行とその長期化により、一部事業に影響が生まれました。これにより、減損損失合計37百万円を特別損失として計上することといたしました。その主な内訳等は以下の通りです。

##### ① XR/SNS 事業

リアルタイム実写立体動画撮影が困難となり、受託案件の獲得に影響が生じ、当該立体動画撮影システムによる収益寄与が当初計画に対し遅れております。そのため、当該システム及びこれに関連する特許、商標等に関する減損損失30百万円を特別損失として計上することといたしました。

なお、当社グループといたしましては、引き続きXR事業の推進に努める所存であり、本事業における多角的な利益貢献は、来期以降を見込んでおります。

##### ② インバウンド・アウトバウンド事業

越境eコマース及び医療ツーリズム事業を中心とする、インバウンド・アウトバウンド事業については、事業環境回復時期の見込みがたたず、当連結会計年度をもって撤退せざるを得ないと判断し、越境eコマースのシステムに係る減損損失4百万円を特別損失として計上することといたしました。

##### ③ その他

2020年3月18日開催の取締役会決議に基づく魅仕坊(上海)互聯網科技有限公司の清算手続きが、2021年2月に終了したことに伴い、第2四半期連結累計期間に、在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損3百万円を特別損失として計上しております。

#### 2. 業績に与える影響

上記、特別損失(減損損失等)の計上は、「2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の当期連結業績に反映いたします。

※特別損失計上額をはじめ、本資料に記載される金額は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって実際の数字が異なる可能性があります。

以上